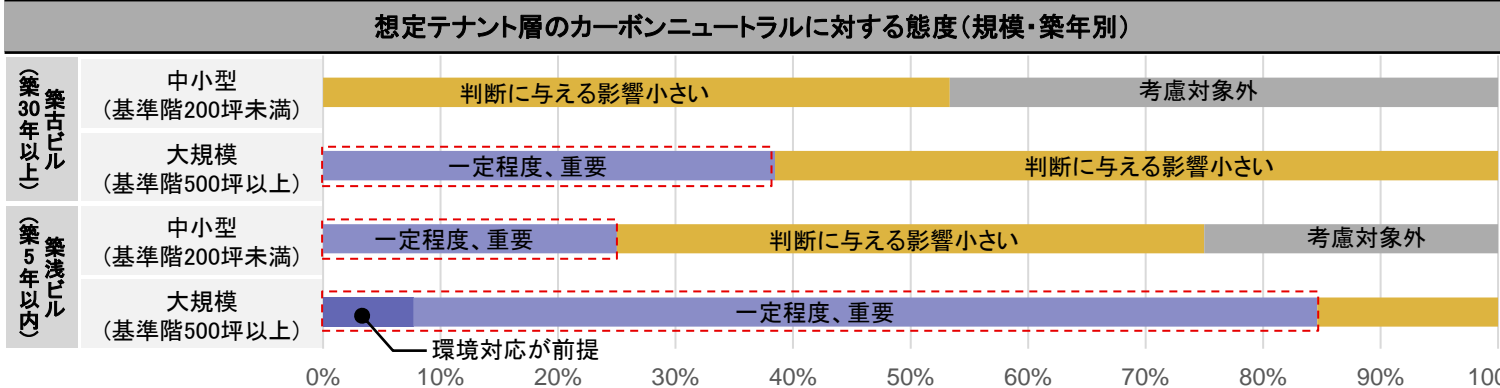
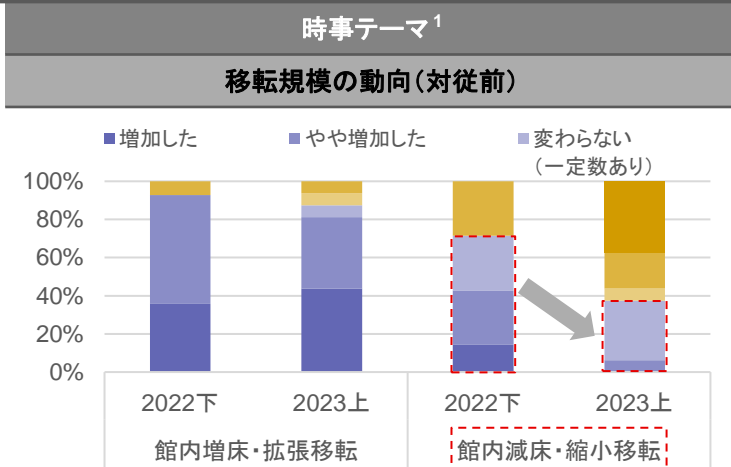


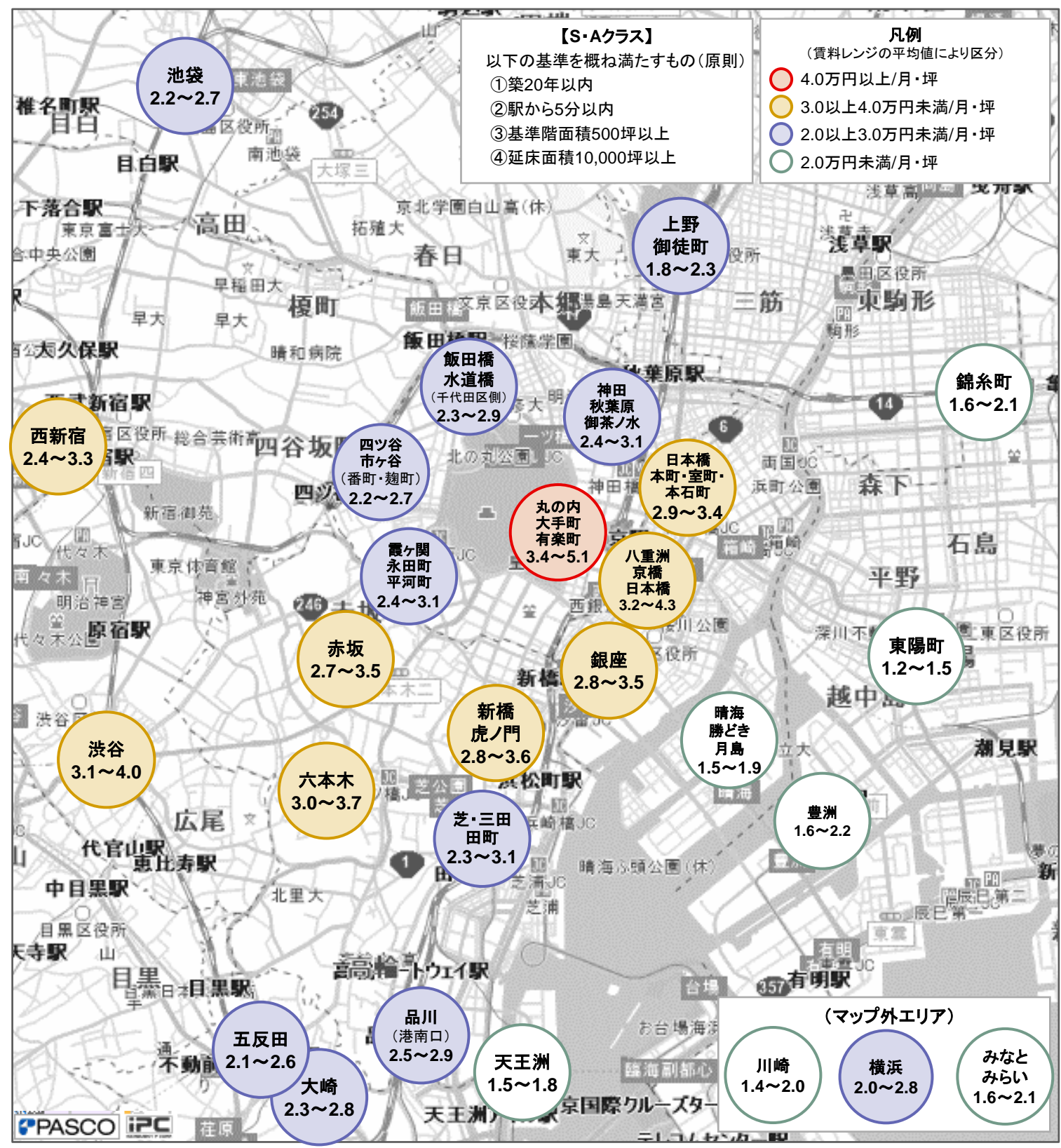
# 【東京】オフィス賃貸市場の概要(2023年8月~9月調査)

## マーケット総括

- 回答結果によると、賃料は継続して下落傾向にはあるが、その状況は改善しつつある。千代田区や品川(港南口)等、一部のエリアにおいては、下げ止まりの兆候が見え始めている等、明るい兆しも。
- 一方で、港区を中心に高賃料帯の新規供給物件では空室の消化に時間を要している。リーシングにおいては長期のフリーレント、工事費負担等のメリット付与を前提としているケースも。
- オフィス回帰の動きが広がる中で、移転の目的としてオフィス環境の改善を企図する事例も増えている。そうした動きが、業容拡大に伴う拡張移転とともに、移転ニーズを下支えしている。



## エリア別S・Aクラス成約賃料レンジ(共益費込)



(注)1. 時事テーマについては、東京・大阪・名古屋計21社の回答を集約

本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります。また、記載されている推計計算の結果等につきましては、前提条件の設定方法によりその結果等が異なる場合がありますので、充分ご注意ください。  
本資料は、当社が公に入手可能な情報に基づき作成したものです。その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。施策の実行にあたっては、実際の会計処理・税務処理等につき、お客さま顧問会計士・税理士等にご確認ください。また、本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません。  
本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します。従いまして、本資料のお取扱いはお客さま限りにおいてお願い申し上げます。

世界が進むチカラになる。

